

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 4 区分
 【発行日】平成 17 年 4 月 7 日 (2005.4.7)

【公開番号】特開 2003-45036 (P2003-45036A)
 【公開日】平成 15 年 2 月 14 日 (2003.2.14)
 【出願番号】特願 2001-228344 (P2001-228344)

【国際特許分類第 7 版】

G 1 1 B 7/007
 G 1 1 B 7/004
 G 1 1 B 7/0045
 G 1 1 B 7/005
 G 1 1 B 20/10
 G 1 1 B 20/12

【F I】

G 1 1 B 7/007
 G 1 1 B 7/004 Z
 G 1 1 B 7/0045 A
 G 1 1 B 7/005 A
 G 1 1 B 20/10 3 1 1
 G 1 1 B 20/10 3 2 1 Z
 G 1 1 B 20/12

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 4 月 28 日 (2004.4.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ディスク上の記憶領域にレーザが照射されることでデータを記録し再生する光ディスクにおいて、標準線速度とは異なる線速度を示す記録再生のための記録速度情報と、前記記録速度情報に対応する記録ストラテジ情報とからなる情報の組を 2 組以上、光ディスクの物理情報としてランドプリピット内に格納していることを特徴とする光ディスク。

【請求項 2】

ディスク上の記憶領域にレーザが照射されることでデータを記録し再生する光ディスクにおいて、標準線速度とは異なる線速度を示す記録再生のための記録速度情報と、前記記録速度情報に対応する記録ストラテジ情報とからなる情報とを光ディスク上の所定領域に格納していることを特徴とする光ディスク。

【請求項 3】

ディスク上の記憶領域にレーザが照射されることでデータを記録し再生する光ディスクにおいて、記録装置での記録の際に使用した記録速度情報と、この記録速度情報に応じて使用された記録ストラテジ情報とを、前記記録装置に対応させて管理領域に格納していることを特徴とする光ディスク。

【請求項 4】

光ディスクの記憶領域にレーザを照射して所定データを記録する光ディスク記録装置において、
 光ディスクを所定回転数で回転しレーザを照射して、光ディスク上の所定領域に格納され

た標準線速度とは異なる線速度を示す記録再生のための記録速度情報と、前記記録速度情報に対応する記録ストラテジ情報とからなる情報とを検出する検出手段と、
前記検出手段が検出した前記記録速度情報に基づいて記録速度情報を決定し、この記録速度情報に対応する前記記録ストラテジ情報を使用する記録ストラテジとして決定する決定手段と、
前記決定手段が決定した記録線速度と記録ストラテジとにより、記録すべき情報に応じてレーザを発生させ前記光ディスクの記憶領域に照射して前記記録情報を記録する記録手段と、
を具備することを特徴とする光ディスク記録装置。

【請求項 5】

光ディスクの記憶領域にレーザを照射して所定データを再生する光ディスク再生装置において、
光ディスクを所定回転数で回転しレーザを照射して、光ディスク上の記録管理領域に格納された、記録処理を行った際に使用した記録速度情報と記録ストラテジ情報とを検出する検出手段と、
前記検出手段が検出した前記記録速度情報に基づいて記録速度情報を決定し、この記録速度情報に対応する前記記録ストラテジ情報を使用する記録ストラテジとして決定する決定手段と、
前記決定手段が決定した記録線速度と記録ストラテジとに基づき、レーザを発生させ前記光ディスクの記憶領域に照射して前記記録情報を検出し再生する再生手段と、
を具備することを特徴とする光ディスク再生装置。

【請求項 6】

光ディスクの記憶領域にレーザを照射して所定データを記録する光ディスク記録方法において、
光ディスクを所定回転数で回転しレーザを照射して、光ディスク上の所定領域に格納された標準線速度とは異なる線速度を示す記録再生のための記録速度情報と、前記記録速度情報に対応する記録ストラテジ情報とからなる情報とを検出する検出工程と、
前記検出工程にて検出した前記記録速度情報に基づいて記録速度情報を決定し、この記録速度情報に対応する前記記録ストラテジ情報を使用する記録ストラテジとして決定する決定工程と、
前記決定工程にて決定した記録線速度と記録ストラテジとにより、記録すべき情報に応じてレーザを発生させ前記光ディスクの記憶領域に照射して前記記録情報を記録する記録工程と、
を具備することを特徴とする光ディスク記録方法。

【請求項 7】

レーザを前記記録工程による記録情報が格納された記憶領域に照射した反射光を検出し、この反射光に基づく記録波形が適切かどうかを判断する判断工程と、
前記判断工程にて前記記録波形を不適切と判断したとき、光ディスク記録方法が推奨する記録ストラテジに改めた上で、光ディスク上の記憶領域に対して、試し記録を行う試し記録工程と、
を更に有することを特徴とする請求項 6 記載の光ディスク記録方法。

【請求項 8】

光ディスクの記憶領域にレーザを照射して所定データを記録する光ディスク再生装置において、
光ディスクを所定回転数で回転しレーザを照射して、光ディスク上の記録管理領域に格納された、記録処理を行った際に使用した記録速度情報と記録ストラテジ情報とを検出する検出工程と、
前記検出工程にて検出した前記記録速度情報に基づいて記録速度情報を決定し、この記録速度情報に対応する前記記録ストラテジ情報を使用する記録ストラテジとして決定する決定工程と、

前記決定工程にて決定した記録線速度と記録ストラテジとに基づき、レーザを発生させ前記光ディスクの記憶領域に照射して前記記録情報を検出し再生する再生工程と、
を具備することを特徴とする光ディスク再生方法。